

情 報 局 編 輯

# 週 報

## 戰 争 朝鮮・臺灣

二月二十一日 號  
4 3 4 號

○ 離組・戦場で必ず回覧を

五 錢



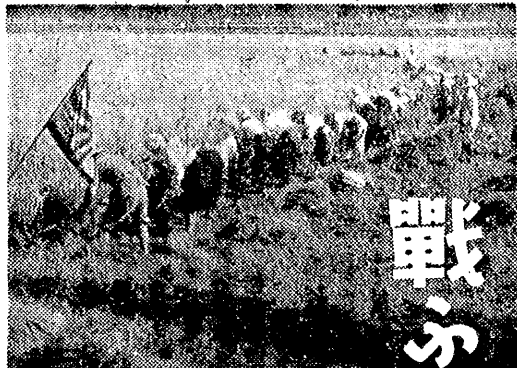
週言

汽車、電車の入口は混雑してゐるのに中程はすいてゐる。乗降場には乗れない人が一杯立つてゐる。中程の人たちは詰めようとしなない。既に乗つてゐる一人が聲をあげる。「さあ、みんなもつと中へ入らう。さうすればもつと乗れるぞ！ みんな同じ切符をもつてゐるんだ。詰めよう、詰めよう！」そして彼は進んで中へ入つて行く。「さうだーさうだー」といふ聲が入口の混雑してゐるところから起る。そして先達に導かれるかの如く人々は中へ詰め合ふ。そこで乗降場に立つてはみ出されてゐた人々はみな乗ることができ、乗物は動き出す。

この風景は戦時生活の深刻化と共に隨處に見られ、日本人の心持の美しさを示してくれる。この心持は同時に日本人の強さを表はしてゐる。みんなて助け合ひ勵まし合ひ、力を協せてゆくとともに、ほんたうの強さが生れるのである。

しかも乗れぬ者が我等を乗せよと要求するのではない。既に乗つてゐる者が乗れぬ人々の爲に叫び、自ら籠を示して、皆をして正しきこと、よきことを行はしめるところによさがあるのである。

戦ふ朝鮮の姿



朝鮮人の戦場

戦局の苛烈化に伴ひ、わが國土もいよいよ戦場となつた。朝鮮の空にも既に昨年九月以來、しばしば支那人機より敵軍の偵察機が侵入し、南朝鮮の一部では悪鬼の盲爆の洗練を受けたのである。殊に最近、敵機は偵察機はその度敷頻りに、近く本格的空襲の前觸れを思はせるとき、戦ふ半島に

千六百万民はますますその頭を沸かせ、仇敵米英露波に憤激を昂めると同時に、わが國戦力源の有力な一環として負荷された重大使命の完遂に和協一致、總力發揮に努めてゐる。

この秋に當り昨年十二月二十四日、朝鮮人の處境について劃期的改進黨綱が發表されたことは、盛り上る皇民精神に一段と拍車をかけ、さきに實施された徴兵制の感激と共に「我等は皇國臣民なりの信念と覺悟をいよく固くし、それ直ちに一切を捧げて忠誠を以て君國に報せん」と進る赤誠となつて前線後方に喚びかけをよびつゝある。

朝鮮における皇民化

決戦のレイテ島の敵艦隊に對し、世界戦史に類例のない必死奮闘攻撃を敢行した皇軍神鷲中に、相次いで朝鮮出身の松井林伍長の名を見出し、或ひはまた敵飛行機の真中に強行着陸した航空艇隊に金原軍曹ありと聞いた一億國民は、その一瞬電撃に似た感激に打たれた記憶はなほ新たなものがあらう。戦局日に憔悴を極むる秋、今や完全に皇民化せる多くの朝鮮同胞が、かの特攻隊勇士の心を以て心とし、祖國日本の危急に赴かんと烈々たる日本精神に燃え立つてゐるもの決して少くないのである。これが併合以來僅か三十有餘年を経た朝鮮の現實の姿であることは、大東亜戦争以前の朝鮮に對する認識しか持ち合せぬ人にとつては、恐らく驚異の一語に盡さるであらう。

朝鮮統治の方針に關しては、畏くも隣國併合に際し特に詔書を賜ひ、併合の宏願と民衆統撫文物開發の聖旨を宣明し給うたが、大正八年八月、朝鮮總督府官制改革に際し重ねて詔書を賜ひ、「其ノ民衆ヲ愛撫スルコト一視同仁朕カ臣民トシ秋毫ノ差異アルコトナク」と仰せられたのである。歴代總督統治の眼目は常にこの有難き聖旨に歸一し奉ることに努めてきたのであるが、

朝鮮事變起り更に支那事變勃發するや、朝鮮  
民衆は自發的に拍車をかけられるに至つた。  
その頃、北上する軍用列車の勇士を稱母  
に激勵する半島婦人や、可憐な學童の  
心からなる歡送の情景は、内地以上に感  
させられたものであることは、多くの歸還男  
士から聞かされた通りである。

また國防献金に恤兵厨間に、鮮内の愛國  
熱は日毎に高まり、中にはその日暮しの餘  
賣り老人が刻苦して貯めた貯蓄をそっくり  
献金したり、死期の迫るを知つた老面長が  
自ら立てた國旗掲揚塔の下に坐し、皇居を  
遙拜して大往生を遂げ、皇國臣民への道を  
最後まで部民に訓へて世人を感服せしめた  
ものもこの頃であつた。

一方、青年の間には從軍志望の隆漸く高  
く、滿洲北支の現地居住者または國境方面  
の青年は續々と皇軍に從軍し、或ひは通譯と  
して、通譯手として活躍、中には天晴れ國  
の英雄と化した者も少くなかつたのである。

### 志願兵から徴兵へ

「我等も日本人である限り榮譽ある皇軍

の一員として起ちたい」との半島に漂着る  
熱望に燃へて、昭和十三年四月陸軍志願  
兵訓練所が設置された。この訓練所を出た  
志願兵の入營後の成績は、内地兵に伍し  
何等の遜色なく、既に戦線の華と散り榮



た勇士も少く  
ない。また彼等  
の遺族の態度は  
例外なく立派なもので、内地人と一  
つとよきな健康を示してゐる。  
朝鮮出身兵の戦場におけるめざましい働  
きぶりについては、かの有名な李仁錫上等  
兵の戦死をはじめとして、密報全國に傳へ  
られて感服も新たなレイテ島における松

井、林雨神鷲や、鷹空挺隊の金原軍曹等の  
忠烈勇武の極致にみる通りであるが、なほ  
かくれたる勇士が續出しつゝあることは、  
最近傳へられた次ぎの一例でも知られよ  
う。

パーモ作戦に當り敵々の俣働を搦て、遂  
に友軍部隊主力の突進に際し鬼神の勇を揮  
つてイラワジ敵陣を爆碎、天皇陛下萬歳を  
奉唱して壯烈な戦死を遂げた朴村官形上  
等兵(平安北道渭原郡鳳山面古堡洞出身)  
がある。同上等兵に對し、さきに軍司  
令官から感状を授與されたが、今回そ  
の不滅の武功が畏くも上聞に達した  
旨、去る二月二十八日陸軍省から授  
表された。これは朝鮮出身兵として  
最初の光榮に輝くものである。

朴村上等兵は志願兵であるが、從來も上  
述の如く朝鮮出身志願兵は多數の志願者  
の中から嚴選された優秀なものが極めて多  
く、苗烈な第一線にあつても内地兵に遜色  
のない活躍をあげ、金鷄勳章を賜はつた  
勇士も相當數に上つてゐるが、今回朴村上等  
兵が授與された個人感状こそは、内地將兵  
の中でも殊勳拔群の者のみが擔ふ榮譽であ

り、なほこの朴村上等兵のほかにもこれに  
準ずる優秀な朝鮮出身兵が續いてゐると  
いはれてゐるのはまことに力強い限りであ  
る。

かやうに朝鮮出身兵の成績は豫想以上に  
素晴らしいものがあり、半島民度の向上と  
愛國的至誠は遂に認められて、昭和十八年  
八月、特選の徴兵制は朝鮮に實施せられた  
のである。まことに過去三十餘年の朝鮮統  
治の努力はこの劃期的制度の實施によつて  
大きく結實したとみるべきであり、全鮮二  
千六百万の民衆はこれより名實ともに日本  
臣民たるの光榮に浴することになつたので  
ある。

### 國語普及の状況

徴兵令の施行によつて昭和十九年度適齡  
者から入營せしむることとなつたが、二番困  
ることは壯丁の中には相當多くの國語不  
解者があることであつた。これに對して總督  
府では各地に青年特別訓練所を開設して、  
入營前國語習得を主とする内地語の訓練  
を行ひ、相當の成績を挙げたのであつて、  
この制度は現在も引續き入營前壯丁の皇民

養成道場の役目を果しつゝある。

元來、國語を使用することは皇國臣民と  
しての先決條件であるが、從來の教育普及  
状況からして、國語の全面的常用といふこ  
とはなかく困難な事情にあつた。しかし、  
最近初等教育施設の擴充は年毎にめざまし  
い發展を辿り、昭和二十一年からはいよいよ  
朝鮮にも義務教育制度を實行することに  
なり、朝鮮人が誰でも國語を聞いたり、讀  
んだりすることのできる時代もそんなに遠  
い將來のことではない。

現在國語を自由に使ふものは、統計上で  
は全人口の二割ぐらゐ、片言交りて話せる  
程度の者を加へると三割七分ぐらゐといは  
れてゐるが、これは老人から赤ん坊まで含  
めた全人口からみた率であるから、實際社  
會に活動する成人、殊に老人を除いた成人  
の男子のみについてみるときは、自由に話  
せる者は確かに五割以上に達すると思はれ  
る。國語を片言も知らぬといつたやうな青  
年男子は、よほど田舎か山奥へでもゆかね  
ばみられぬのが普通である。従つて今日で  
は少しも朝鮮語を解しない内地人も、よ  
ほど田舎でない限り日常の言葉に不自由

はないと思つて差支へない。

### 朝鮮は急變した

朝鮮は滿洲事變から支那事變を経てその  
全貌を急激に變へた。しかもその變貌の廣  
合は近年加速度的となり、大東亞戰下の現  
今においては日々刻々非常な速度で變りつ  
つある。それは過去の貧弱な朝鮮認識や、  
見聞を基礎としての尺度では全く用をな  
さないであらう。

では朝鮮はどういふ工合に變りつゝある  
か。一言にしていへば、人も物もすべてを  
擧げて日本的になりつゝあるといふに盡さ  
る。即ち日本内地と同じやうに、ひたむき  
に大東亞戰爭に勝ち抜くために總立ちにな  
つてゐる。その農業において、地下資源  
の開發において、重工業の新興において、  
勞務の供出、徴兵制實施による青年の總  
出陣において、今や半島を擧げて刺すこと  
もなく殉國の至誠に奮起してゐるのであ  
る。

朝鮮人は最早や内地人に對して特異の存  
在ではなくなつたのであつて、朝鮮人は九州  
人、東北人といふ意味においての稱呼でし

ない。すでに過去の朝鮮人は現に起ち上  
りた新しい朝鮮人とは別個のものである  
といはねばならぬ。

かといつて朝鮮のあらゆる部面におい  
て、今日内地同様になつてゐるかといふと  
まだそこまではいつてゐないことも事實で  
ある。内地は三千年の光輝ある歴史の上  
で、維新以來八十年に垂んとする努力によ  
り今日を築いてきたのであつて、朝鮮は併  
合以來僅々三十餘年で内地に追随しようと  
するものである。従つて或る部面では驚くべ  
き進歩をして、殆んど内地に遜色なきに至  
つてゐるが、多くの面ではまだ遠く内地に  
及ばぬ點があるのはむしろ當然である。  
かかる取送されてゐる面を一日も早く  
内地の水準に引上げるのが朝鮮人先導者の  
責務であると共に、内地人に與へられた任  
務である。

### 豊富な人口と土地

さて朝鮮の人口は如何ほどあるかといふ  
點、半島在住だけで約二千四百万人であ  
る。この他、内地在住約二百萬、滿洲在住  
も殆んどこれと同數、支那に約二十萬

合計四百二十万人あるといはれるから、朝  
鮮人全體では約二千八百万人以上に達する  
勘定であつて、我が國の人口を一億とし  
て、その四分の一強を占めてゐるわけであ  
る。



宜寧郡を隔る國境上  
尤もこれだけの人口が昔からあつたので  
はなく、併合當時の統計では一千三百三十  
万となつてゐるから、その頃からみると實

に二倍餘の増加を來してゐるのである。李  
朝末期の班政の後を受けた總督治績の一端  
を示すものとみるべきであらう。

さきにも述べたやうに、朝鮮人は内地へ  
約二百萬人出でゐるが、内地人の半島進出は  
その半分にもならぬ七十萬人である。全國  
的に朝鮮人の最も多く集團居住してゐるの  
は京城、大阪の順序であつて、大阪には朝  
鮮人四十萬、三萬が居住してゐるといはれ  
てゐる。ところが京城は内地人の一番多く  
居住してゐる地であるが、その數は僅か十  
七萬である。

併合以來三十餘年にもなるのに、なぜ内  
地人は朝鮮へ僅か七十萬しか渡らなかつた  
か。朝鮮は土地が狭いのではないからうか。  
それとも氣候が甚だしく不良のためであら  
うか。  
朝鮮は本州から遼東を隔いたくらの  
面積である。これらゐることも内地では  
往々知られてゐるが、朝鮮を九州や東海ぐら  
ゐの廣さに思ひ、甚だしきは内地の一縣ぐら  
ゐに比する向もある。内地の田舎に歸省  
すると、京城へ歸つたら平壤または新義州  
の難彼にやうしくといつたやうな傳言を頼

まれてよく苦笑させられる。これも朝鮮を一  
府縣ぐらゐの廣さに思ふから起ることであ  
らう。釜山から新義州までの距離は、東京か  
ら山口縣の岩國までに四敵するのである。  
氣候について一言すると、朝鮮は内地方面  
では酷熱の地と思つてゐる向が多い。だ  
いたいにおいてやゝ大陸的氣候の特色を帯  
び、寒暑ともに内地に比して激しい方では  
あるが、北部地方は内地の關東北部から東  
北地方の氣候に類似し、中部以南は近畿・  
中畿地方と殆んど變りはないのである。殊  
に秋から春、冬から初夏にかけて一點の曇  
もない晴明な天氣が續き、非常にすがすが  
しい氣候は内地ではへぬ思はれた自然の  
地である。朝鮮は内地に次いで大東亞共稱  
圈内における最も勝れた健康地の一つとい  
ふことができる。

### 農業朝鮮

朝鮮はもとゞ農業國であり、過去の平  
年作の年には六、七百万石の米を主として  
内地へ移出してゐたので、朝鮮の米は相當  
以前より内地に知られてゐた。不幸にも最  
近數年間は旱害及び風水害等による凶作が

續いたが、將來恒久的な旱害対策として水利  
施設が完成して、朝鮮の米作にあまり憂  
なく、重米増産計畫の三千五百萬石が確保  
される時には、我が國の食糧問題も南方に依  
存することなく、永久に解決できるはずである。  
それはともかく、餘蘊なく本年の朝鮮に  
おける食糧事情は、昨年の凶作と一方、時局  
に伴ふ需要増のため相當の窮乏を豫想され  
てゐるが、一粒でも多くの米を内地移出に  
振り向け軍需にも御奉公しようと、鮮内  
は甘藷、馬鈴薯の増産と、蔬菜、山野草の利  
用等によつて糧食の消費規正を勵行すると  
共に、十九米穀年度以降、主要食糧の國家  
管理を實施し、また昨春以來、主要農産物  
に生産責任制をとり、供出の強化に官民一  
致の努力により、穀倉朝鮮の面目にかけて  
能く限り内地の食糧事情緩和に協力しよう  
と意氣込んでゐる。三年も續いて内地への  
米移出は不振であつたとはいへ、過去にお  
ける朝鮮農家の内地の食糧に密與した功勞  
と、現在の減私供出の奉仕は相當買はれて  
もよいと思はれるのみならず、將來におけ  
る我が國の食糧問題解決の鍵は鐵道南方  
にあらすして、近き朝鮮にあることを銘記

すべきであらう。

米以外の農産物もいろいろあり、雜穀の  
増産も急務とされてゐるが、殊に本年は甘  
藷、馬鈴薯の増産を企畫してゐる。なほ時局  
下見逃せぬものに朝鮮の棉がある。棉は戰  
争に缺くべからざるもので、朝鮮の棉がこ  
の大戦に非常に大切な役目を果してゐること  
は申すまでもない。朝鮮では昔から在來  
種を栽培してゐたが、併合以來、苦心奮  
勵し來つた陸地棉の栽培は見事な成功を収  
むるに至つたのである。

### 地下資源の寶庫

半島における地下資源は極めて多種であ  
り、また豊富である。  
いま内地に少いか、また殆んど全く産せ  
ず、しかも現代科學戰に缺くべからざる礦  
物で朝鮮に多く産するものを擧げると、お  
よそ次のやうなものがある。

- 鐵、タンクステン、水銀、マグネサイ  
ト、磁石(アルミニウム、ソーダ及びカリ  
の磁石)、明礬石(アルミニウム及びカリ  
の磁石)、輝土頁岩(耐火材またはアルミ  
ニウム酸、黒鉛、無煙炭、螢石、重晶石



として行政機構と表裏一體の形を以て運動の指導 指令が下達される。しかしして最下部組織として、地域にあつては約十戸を単位とし、或いは職域に愛國班を組織し、これを練として運動の實踐に挺身してゐる。以上四點が朝鮮における國民總力運動の特質であるが、しかししてこの運動の理念としては「國體の本義に基づき道義朝鮮を確立し、二千六百万民の總力を直接能力増強の一點に結集、以て大東亞戦争の完勝を期す」ことに二千六百万同胞の總力が結集されてゐるのである。

運動の理念と特質は右の通りであるが、これらに基づいて展開される國民總力運動は如何なる目標に向つて進みつゝあるか。運動の最高指導機關たる國民總力朝鮮聯盟の現在における運動方針を挙げてみると、一、内鮮一體の徹底 二、國民信仰の確立 三、皇民養成の徹底 四、皇道文化の作興 五、仕奉増進の強化 六、決戦生活の徹底 七、徵兵制度の完遂 八、半島の國民運動において缺くことのできなない重要な目標のみで、これらの浸透、完成

こそ朝鮮の實の一大飛躍を約束するものである。右の運動目標に具體的解説を加へると、内鮮一體の徹底は端的にいって朝鮮における國民運動の基本的なものであり、これの具現によつてのみ他のすべての運動目標が實を結ぶのである。従つて國民總力運動にあつては、内鮮一體具現へ最大の力が置かれることも當然のことといはなければならぬ。しかしして内鮮一體の根本精神は一國同仁の聖旨に副ひ奉ることであり、今や二千六百万同胞は、さきの處遇改善の殊遇に感激を高め、内鮮一體の實は大御心の奉獻とともに急速に深められてゐる。殊に古代の史實は内鮮人の密接不離なる肉身的關係を裏づけるものとして、近來この方面に對する研究が積極的に進められてゐる。

次に國民信仰については、各家庭に神棚を祀り、朝夕家族が拜禮し、神棚を中心にして家庭の日常行事を行ふまでに浸透してゐるが、さらにこの環境を進めるべく、一面(〇〇)に一劃を奉ずる運動が展開され、全鮮一千二十の神祠を奉ずるまでに至つた。なほこの神祠に奉仕する奉務員、副奉務員

の養成も併せ實施され、數面に亘り練成が施され、現在七百三十八名の奉仕者を送り、國民信仰の正しい指導に當つてゐる。國民信仰の確立に伴つて皇民養成も重大な運動目標であり、國民總力各聯盟では、あらゆる機會をとりて養成に、軍隊式訓練に、勤勞奉仕に、我が國體の把握に邁進したが、殊に養成は行的修練を通して、森嚴なる團體把握への最短距離として、指導者も被指導者も火の如き熱意を以て續けられてゐるのである。

皇道文化の作興も朝鮮の國民運動に課せられた大きな問題の一つであるが、これは過去の米英的文化の二番が先行しなければならぬ。従つて文化運動は破壊と建設の兩面に活潑な推進を示してゐるのであるが、なかに皇道文化の普及徹底は文化運動の源泉であるとして全面的に力を注がれてゐる。殊に徵兵制の實施に關聯して、國語の普及は最も緊急必須な文化員策として、長期に亘る國語常用全鮮運動が強力に展開されてゐる。

以上を以て、朝鮮の國民運動の特長を述べ、これらに基づいて展開される國民總力運動は如何なる目標に向つて進みつゝあるか。運動の最高指導機關たる國民總力朝鮮聯盟の現在における運動方針を挙げてみると、一、内鮮一體の徹底 二、國民信仰の確立 三、皇民養成の徹底 四、皇道文化の作興 五、仕奉増進の強化 六、決戦生活の徹底 七、徵兵制度の完遂 八、半島の國民運動において缺くことのできなない重要な目標のみで、これらの浸透、完成

それは全鮮の嶺山、工場、職域聯盟に仕奉隊を結成し、これを軍隊式組織の下、皇國勤勞義務による増進取酬を促すのである。既に現在朝鮮に二千を超える嶺山、工場仕奉隊が結成され、勤勞は即ち 天皇に仕へ奉る道であるとの大義に徹し、決戦増進に挺身してゐる。

これに伴つて全鮮商業經濟人を網羅し、地域的に結成された商業仕奉隊がある。商業仕奉隊は全鮮の府、郡、島、聯盟を単位とし、國體の本義に基づき皇國商業道に徹し、一致團結して商業仕奉の誠を竭さんとしてゐるのである。しかしして經濟統制の諸施策に協力するとともに、物資配給の適正円滑と低物價の維持に貢献せんとするものである。これが指導部としては分隊長以上各隊幹部を以て組織してゐる幹部協議會、さらに關係官廳、總力聯盟役員、商工經濟會役員等を以て組織してゐる指導委員會が積極的に頭腦的役割を果し、仕奉隊の

運動をますます活潑ならしめてゐる。増進に對する仕奉運動と並行して積極的展開されてゐるの徴用令その他による勤勞動員に對しての運動の展開で、これがため國民總力朝鮮聯盟事務局はさきの改組に際し、勤勞部を設け、勤勞動員による勤勞者と其の家族に對して趣旨の徹底と援護事業を行ひつゝあるのである。

決戦生活の徹底は今日まで相當顯著な實績を擧げてゐるが、職局の推移は一層國民に對し、物心兩面に亘る極度の決戦生活確立を要求してゐる。これに鑑み、一般愛國班の決戦即應生活確立に關しては、あらゆる機會と方法を以て強く呼びかけられてゐる。しかしして決戦生活確立の隘路ともいふべき下草上通の缺如を補ふため、最近各主要都市聯盟に職時國民生活相談所を設け、直接愛國班員と膝をつき合せて生活上の諸問題につき懇談を遂げ普處することとしてゐるが、効果は大きく注目すべき施設である。

決戦生活面の運動半徑は極めて廣いものがある。金屬回収に、諸物資供出に、國民貯蓄強化に、時宜に應じて極めて適切な方法を以てそれ、運動を展開し、常に豫想以上の成果を収めてゐるが、この半面の功績は半島同胞の皇民たるの自覺による戦争完勝への献身的協力がなされてゐることを忘れてはならない。

最後に、朝鮮の國民總力運動中特筆すべきは徵兵制度完遂のための運動展開である。徵兵制の施行は一國同仁の大御心によるものであることはいふまでもないが、この劃期的な制度は半島同胞に異常な感激と歡喜を與へ、皇國臣民としての崇高な奉公を果し得る道の拓かれたことの光榮を戴き、深くましい努力と精進が重ねられてゐる。國民總力聯盟は徵兵制施行に先立つて全鮮津々浦々に對し、趣旨の徹底と心身練成に乗り出し、昨年の最初の入營に際しては見事苦心が報いられ、立派な壯丁を營内に送ることができたのである。本年も第二回徵兵に即して國語全鮮運動に、甲種合格運動に熱情的な努力が續けられ、榮光ある軍門に一人でも多くの壯丁を送り、奉公の赤心を鳴らさんと官民一致で邁進してゐる。松井、林兩神將等の殉國精神はいまや半島全壯丁の精神として、撃敵へ新たなる憤激となつて燃え上つてゐる。

(朝鮮總督府)



# 戦場臺灣の布陣全

## 戦場臺灣の布陣全

比島に隣りする臺灣は、今や軍に戦場に繋がるといふやうな生易しい表現を用ふるやうな状態ではなく、全島悉くが戦場そのものであり、六百七十万の全島民すべてが敵前に展開して、直接戦闘を續けてゐるのである。

一日延千五百餘機の連綿來襲をみた昨年十月の大空襲、一日延五百餘機の來襲をみた本年正月頭初よりの歴々の大空襲、そして不斷の少數機による空襲の連綿は、いづれも帝國本土と南方資源地帯との間に備存して戦術基地の責務を遂行しつつある臺灣への攻撃であり、侵襲作戦の前奏曲ともみらるべきである。この敵の來襲に對してあくまでもその責務を完遂し、その健在を示すか否かは、比島決戦の運命を決し、帝國存亡に繋がる重大問題である。

試みに南方非露國の地圖を按じ、現戦局を視するならば、臺灣の地位の重要さは直ちに感得されるであらう。そしてこの故にこそ、臺灣は戦場であり、敵の來襲もまた頻繁激烈なのである。

既に今日を豫想せる臺灣總督府は、昨年八月「臺灣戦場態勢整備要綱」を決定して陸海軍の作戦に即應し、臺灣の有するあらゆる人的、物的、練力の一切を擧げて戦闘配置につけ、決戦能力への集中組織化

を斷行するといふ敵前大轉回を行つたのである。が（昨年八月二十三日附、國報第四〇九號附録の「臺灣戦場態勢整備要綱」を以て臺灣軍司令官が臺灣總督に任命せらるゝといふ稀有の人事を招來するに至つたのである。この點に關しては、安藤新總督が一月四日、總督就任の挨拶に關して「帝國存亡の繋がる重大時局下、戰術的要衝たる本島に、軍司令官を兼ねて總督の重任を拜しました。聖慮を拜察いたしますに、軍官兵を渾然一體とする結束を如實に強固ならしめ、以て本島防衛上完備を期し、戰爭の遂行に最善の寄與貢獻を期待せられ給ふものと存する次第であります」と述べ、さらに「私の統治を左右するものは島民個人々々の福利繁榮ではなくして、本島に迫り來らんとする敵米英撃滅である」と斷じてゐることによつて、その理由と決意とは判然するであらう。

かくて臺灣の戦場態勢は完全に整備され、攻防全き戦場臺灣はこゝに完璧の布陣を終へたのである。南方第一線におけるわが臺灣出身の高砂義勇隊や臺灣勞務奉公會のめざましい活躍については、既に全國民の周知する事實であるが、攻防全き戦場臺灣島内において、六百七十万の島民各個がいかに活躍し、いかなる配置に於てゐるかは知る人も少いので、例を島内における臺灣軍的組織と帶備軍的勤勞組織

以下説明することしよう。

### 臺灣義勇報國隊

六百七十万の島民をガツナリと結束させ、且つその一人々々に十全の能率を發揮させる組織は「皇民奉公會」といふ全島民の組織がある。元來この組織は内地における大政翼賛會に呼應して誕生したもので、あるが、その性格、殊に組織をやゝ異にし、内地人、本島人、高砂族のすべてと軍官兵を渾然一體化した強力な組織であり、總督府の行政組織とは完全な表裏一體をなすもので、特に中央から地方末端組織に至るまで一貫した太い線が結ばれてゐることに特徴を有してゐるのである。しかもこの末端組織が、領土當時から臺灣特有の國民組織として永い傳統と成果に輝く「保甲制度」の骨子を以て一甲とし、十甲を以て一保となすの上に、大政翼賛といふ新しい理念を以て打ち建てられ、保に代る保會及び部落會五千五百餘、甲に代る奉公班（島の島民に當り八方餘）によつて縦横に組織化されてゐるのである。この奉公會の組織に筋を通し、「戦ふ奉公會」の中核的存在となつてゐるの

が「臺灣義勇報國隊」である。

### 臺灣義勇報國隊

臺灣義勇報國隊は「臺灣戦場態勢整備要綱」に基づいて結成されたもので、平常に於いては皇民奉公會の筋金ともいふべき中核的推進組織であり、有事に際しては「國民義勇軍」たる任務を果す行動組織である。しかもこの組織は現地即應の機動的組織であり、必要な戦場においては戦隊組織ともなるのである。そして隊員は、朝野各府の精銳臺灣の士を自發的參加（志願）によるもので、現在すでに十數方を數へて、堂々たる陣容をなしてゐるのである。一月初めの大空襲に際しては、宣傳突撃隊として流石の言葉を破砕し、官の要請によつて特別に編成された非常工作隊は、敵グラマン機が跳梁する中を被害地の復舊に努め、進んで橋梁、鐵路を死守し、或は軍の要請に應じて兵站の後方勤務に偉功を樹てるなど、非常な成果を擧げてゐることは、戦場臺灣として當然のことながら暗示するに足るところであらう。かくて敵次に亘る敵の大空襲下においても、臺灣は微動だにせず、なんらの不安、動搖、混乱もなく、敵撃滅の闘魂を燃え立たせてゐるのである。

なほ昨秋、奉公會内に「思想動員本部」を附設した。これは總督府で策定した輿論指導方針その他、啓蒙宣傳方針に策應して、これが實踐要項を決定の上、義勇報國隊に移して實踐せしむる機關で、島内各方面の智囊を網羅し、勝ち抜く思想戦を展開してゐることをこゝに附言して置かう。

### 臺灣護國勤勞團

以上述べた臺灣義勇報國隊（國民義勇軍）は、豫備兵力として戦場臺灣の中核的存在であるが、次に述べる臺灣護國勤勞團（隊員は常備兵）は、常備師團として常に有事の活動を行ふものとして、二月五日、律令を以て公布されたのである。臺灣が戦場であるからには、飛行場の修築、要塞、防禦その他の防衛強化工事、港灣荷役作業の迅速果敢な遂行が刻下の急務であり、時局柄、絕對の要請であることは當然である。しかるに臺灣は、大東亞戰爭以來、大陸艦隊南方艦隊、或は内地生産部、面に尤大な軍要員を派遣し、島内においても兵站補給基地として各種軍需工場は増設し、ために勞務事情の窮乏を辿つてゐるこ



とは、改めて説明するまでもないところである。こゝにおいて總督府は今般、臺灣護國勤勞團令を公布し、現下の緊要な業務を迅速に遂行するために必要な大量の勞務者の確保を圖つたのである。

この團の主とする業務は、

一、軍事上、特に必要なる土木建築作業の受託

二、港灣荷役作業の受託

三、前二號に掲ぐるもののほか、緊急業務に關する勤勞作業の受託

四、緊要業務に必要な勞務の供給

五、勤勞者の技能教育及び農民養成(以下略)

と團令第十六條に規定してある。そして團はその業務を遂行するために、全島に亘つて必要の地に勤勞隊を設け、所屬勤勞者を隊組織によつて編成し、指揮命令と服従の關係を明確にし、隊員をして嚴正な軍隊的規律の下に業務に挺身せしめることとしてゐる。

要するに臺灣護國勤勞團は、常備現役隊員〇万を有する勤勞常備兵團であるとみるべきであらう。團は臺灣總督が定める計畫に従つて緊要業務を遂行するのであるが、團

の性格からみて、殆んど全部が軍作戦に關聯ある土木工事、港灣荷役等であることは自ら明らかであるから、業務の性格上、身體が頑健で、重勞務に堪へる隊員を軍隊同様、嚴選しなければならず、これをいかにして充員編成するかは極めて重大な問題である。

この點に關しては、隊員は本島に居住する年齢十四歳以上六十歳未満の男子を徵用により入隊させることを方針とし、既、小隊、中隊、大隊の單位勤勞隊の部隊編成は概ね軍隊同様である。隊員は原則として隊舎に收容して、勤勞と併せて技能訓練を實施するのであるが、服務に關しては原則として、特別隊員(技能者)は一箇年、一般隊員は概ね百日となつてゐるので、一般隊員は常に更新されることとなるわけである。なほ團の組織は、本部にあつては總裁(總督府總裁)、副總裁(臺灣護國勤勞團長)、理事(局長、理事、參事)なり、單位勤勞隊にあつては部長(隊長)のほか、訓練主任、庶務主任等のほか、各大隊、中隊、小隊長以下の各幹部を置くことは軍隊の編成組織と同様である。たゞこゝで特色として強調しなければならぬことは次の三點である。

即ちその一は、戰場化せる臺灣において、防衛上または戦力増強上、長が非でも急速に完遂せねばならぬ緊要業務の遂行を使命とする國策代行機關であるから、本團の各隊員は召集の命に浴した特兵と同様、特持と義務奉分の精神とを以て勤勞に挺身し、勤勞隊もまたこのやうな高い精神的基調の上に運営されてゐることである。

第二の特色は、臺灣義勇報國隊との關係である。先に述べたやうに義勇報國隊は市街庄の地域を單位とする義勇軍的存在であり、その特別組織による市街庄別非常工作隊は、臺灣防衛強化の強腰の整備や空襲その他、非常時における災害復舊等に率先挺身するものではあるが、あくまでも國民義勇軍であるため、平常時においては豫備的存在である。しかるに臺灣護國勤勞隊は常備現役軍であり、かつ一般隊員は百日を以て更新されるものであるから、一たび徵用解除となれば豫備軍たる義勇隊に歸り、また逆に新たな義勇隊員が現役軍たる勤勞隊に入隊することとなるので、兩者の關係は義勇隊が勤勞隊の精神的母體をなし、兩者相俟つて運営の妙味を發揮することになつてゐることである。また有事災害時に

いはば常備軍、豫備軍ともに機動的、靈敏的に活動することはもちろんである。第三は、本團の業務の國民的緊要性に關し、國民動員關係の官公吏はもちろん、必要に應じては一般官吏、學校關係の教職員、警察官吏等の中から適任者を選拔し、隊長または隊幹部として率先陣頭指揮に當らしめるといふことである。

### 民政官制度

戰場臺灣の新しい職制展開に伴ふ施策として、昨年末から實施されて好評を博し、機動的行政官として戰場に相應しい機能を發揮してゐる民政官制度がある。民政官とは獨立せる官名ではなく、單なる補職名である。

由來高等官の任免は中央政府の管掌するところであり、また各廳の定員は官制上嚴格に定められてゐて、自由に増減することは許されない。平時でもあれば、これはもとより當然のことであるが、臺灣の如き戰場化した現状においては、情勢の緊迫に伴つて關係官吏の重點的配置と人事異動の迅速化を特に考慮する必要がある。緊急の場合、一々人事異動について中央の命令を求

めてゐたのでは急の間に合はない場合が多いことは想像に難くない。また急變する客觀的情勢に即應して施策の機動的運営の萬全を期するには、官制上の定員制の枠をはずして、各廳定員を必要に應じて機動的に活用するのぞなければこれを望み得ない。この見地から臺灣總督府において、自由に所屬高等官の配置と異動を民政官といふ補職行為によつて、迅速かつ機動的に行ふことが出来るやうな仕組にしたのが、この民政官制度であり、戰場態勢整備要綱の裏打ちとしての官制と人事手續に關する決戦非常措置にはかならないのである。

### 國語普及と皇民鍊成

外地同胞が在來の習俗を改め、國語を身に付けることだけが、これがいかに困難なことであるかは、内地の人が身を置きかへて考へてみれば容易に考へることである。

臺灣同胞は五十年の間、職々としてその困難を克服した。それは皇國運後の統治に隨順し、皇國民たるの資格を備へんとする臺灣同胞赤誠の現はれであつた。そしてその成果は、昨年九月發表された徵兵制となり、國語普及の處遇改善といふ大きな記念塔に

まで達したのである。もちろんこの間、總督府もまた國語普及を重要政策として努力し、國民學校教育の課程においてもその主眼は國語の習熟に置いたのであるが、呑むことを欲しない馬に水を呑ませることができない以上、皇國民への赤誠と努力がなければ、國語普及における今日の成果をみることはできなかつたのである。

即ち昭和十八年末現在、國語解者は全人口の七十%に達し、これを滿二十五歳以上の男子だけについてみれば、實に八十三%に及ぶ盛況を示してゐる。しかして國語習熟の熱意は、支那事變より大東亞戰爭に至り、さらに徵兵制をめざして正々白熱的狀態を示してをり、公立國語講習施設のほか、本島人男女有識者は自發的にいはゆる軒下學校、或ひは皇民塾を設立して所在の國語未解者である青少年はもとより、老幼婦女子を集め、家業の餘暇を利用して自ら教壇に立つなど、眞剣な努力を續けてゐるのであつて、昨年四月現在におけるこれら公私立の國語講習所は、總數二万三千、生徒數九十八万五千に達してゐる状況である。總督府としては、本年から施行される徵兵對策の一つとして、未就學青年の國語不



